

# 一生勉強、一生青春

—職業を選択する上で、中学生として今すべきことを考える—

群馬県前橋市立南橋中学校  
第2学年キャリア教育講演会資料



2021年4月30日(金)

13:45~15:00

前橋市立南橋中学校体育館

開倫塾

塾長 林 明 夫

群馬経済同友会 会員

Q 1 : 自己紹介として好きなことばを紹介してください。

A : たくさんあります。

- (1) 「ブルドッグ魂 (食いついたら離すな)」
- (2) 「練習で泣いて試合で笑え」
- (3) 「一所懸命 (一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組もう)」
- (4) 「スポーツの3つの宝」
  - ① 「練習は不可能を可能にする」
  - ② 「フェアプレー」
  - ③ 「よき友」
- (5) 「よいことをして忘れる」
- (6) 「会った人は皆友達」
- (7) 「目には遠いが心は近い」
- (8) 「離見の見 (りけんのけん)、(舞台上で踊っている自分の姿を、観客席から見る)」
- (9) 「持続する志」
- (10) 「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」
- (11) 「If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれをする事ができる)」

皆様の好きなことばは何ですか。あったら下に書いてください。

\_\_\_\_\_

Q 2 : 将来、職業を選択する上で、今中学校でしておかなければならないことは何ですか。

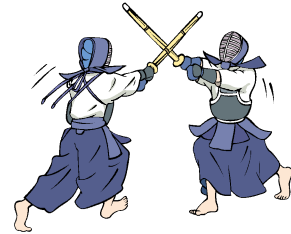
A : (1) 中学校で、今学んでいるすべての教科を、しっかり勉強することです。

- ① 「学校の勉強はすべて社会に出てから役に立つ」からです。
- ② 小学校・中学校・高校で学ぶ教科の内容で、社会に出てから役に立たないことは何一つありません。すべて役に立ちます。  
\*現代は「知識基盤社会」(様々な知識を基盤にして成り立っている社会)です。小学校・中学校・高校で学ぶすべての教科は、社会で仕事や社会的活動、生活をする上で欠くことができません。

③ ですから、学校でしっかり学び、社会に出てからも「学び直し」ができるように、学校の教科書や教材、辞書などは決して処分しないことが大切です。

(2) 中学校で学ぶ教科以外に、学校行事や教科外の教育活動も、社会に出てから役に立ちます。

- ① 1 つ 1 つの「学校行事」の大切さをしっかり「理解」した上で積極的に参加しましょう。
- ② 部活動や学級会、当番、生徒会、ボランティア活動などの教科外の教育活動も、1 つ 1 つの「大切さ」をよく「理解」した上で、自分にとってどのような意味があるかを考え、「意味付け」をし、積極的に参加しましょう。



③仕事をする上で一番大切なことは、その仕事(活動)の大切さ(価値)を十分に「理解」した上で、しっかり「意味付け」をして実行することです。

(3)自分なりの勉強の仕方も、中学校・高校時代にしっかり身に付けておきましょう。

①社会に出てからも、仕事や社会的活動をするため、よく生きるために新しいことを学ばなければなりません。仕事によってはテストもたくさんあります。

②その度(たび)にどのように勉強したらよいか、テストの準備をどうしたらよいかを考えていたのでは間に合いません。

③「予習の仕方」「復習の仕方」「定着の仕方(『音読練習』『書き取り練習』『計算・問題練習』)の仕方」「テスト勉強の仕方」など、勉強の仕方を中学校・高校時代に少しずつでも身に付けておきましょう。

\*「授業の受け方」はもちろん、「ノートの取り方・整理の仕方・活用の仕方」も身に付けておきましょう。

Q3：この他にも、中学校時代に身に付けておいたほうがよいことはありますか。

A：あります。たくさんあります。

(1)「読解力(文章や情報を正確に読み解く力)」

＜「読解力」を身に付けるのに役に立つものは3つあります＞

①「辞書」…意味のわからない語句があったら「気持ちが悪い」と考え、辞書や用語集、参考書、インターネットなどを用いて「調べる」こと。

\*調べたことは、「カード」や「ノート」に書き写し、少しずつでもよいから覚えること。＜「ことば」の数を増やすこと＞

②「新聞」…新聞を毎日30分以上1面から読み、社会で今起きていることをしっかり知ること。

\*新聞を読んで、「自分で考える力」「批判的思考能力(ひはんてきしこうのうりよく)」を身に付けること。

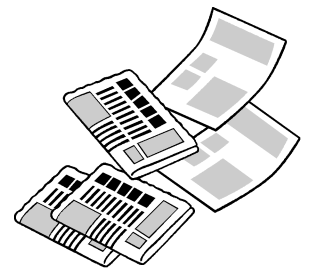
\*気になる記事は、切り取ってスクラップノートにはりつけ、感想・意見を書き記すこと。(図書館の新聞は「公共物」なので、切り取ることは禁止。お金を払いコピーするか、書き写すこと)

③「読書」…自分の好きな本や学校の教科書で推薦されている本を毎日30分以上じっくり腰を落ち着けて読むこと。

\*大切な本は、2回、3回、4回、5回、6回と繰り返し読み、「作者との時空(じくう)を超えた対話」をすること。

\*読書によって「思慮深さ(しりよぶかさ)」を身に付けること。

\*気に入った「ことば」や「文章」は「書き抜き読書ノート」に書き抜くこと。



これからは、自分の頭でしっかり考え、自分の言葉でしっかり表現する力が大切です。

＜思考力・表現力＞

(2) 「英語」と「コンピュータ(プログラミング)」

①外国の小学生・中学生・高校生と同じレベルの英語力を、身に着けることが大切です。

\* 一度学んだ英語はすべて読む練習、書き取り練習、ペアワークなどをして身に着ける(すべて暗記する)ことをおすすめします。

\* 「英検」などにも、どんどん挑戦を。

\* NHK のラジオ講座、TV 講座で自分のレベルに合わせた英語の習得を!!

\* 「英字新聞」や「英語の雑誌」、「英語の本」にも挑戦を。

\* どんどん英語で話し、書くこと。

②中学生で PC が好きな人はプログラミングにも挑戦を。

\* 「ミニ四駆」<ハンダごても使いこなせるようにしよう!>

③「英語とプログラミング」が社会に出てから最も役に立ちます。

(3) 「5S(ごえす)」、S で始まる 5 つ

①「整理(seiri)」 ----- いらぬものは処分する

②「清掃(seisou)」 ---- きれいに掃除をする

③「整頓(seiton)」 ---- ものは同じところに置く

④「清潔(seiketsu)」 -- ①~③を継続する

⑤「躰(shitsuke)」 ---- 自分で決めたこと・みんなで決めたことは、自分から進んで行う

別の意味の「躰(しつけ)」も大切です。

①「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」(服装第一)

②「美しい言葉遣い(ことばづかい)」(敬語表現を身に着ける)

③「元気なあいさつ」(あいさつは、こちらからする)

\* 人間関係をよくするには、こちらから元気なあいさつをすることが効果的



Q 4 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)自分のよいところ(潜在能力、せんざいのうりよく)を自分の力で探し、自分の力でどんどん伸ばす。

(2)家族、友だち、学校、地域、群馬、日本、アジアのよいところも、自分の力・みんなの力で探し、どんどん伸ばす。

(3)そのために、自分のよいところをよく知ること、家族や友だち、学校、地域、群馬、日本、アジアのことを、もっともっとよく知ることが大事。

(4)健康第一(身体健康、心の健康を大切に)

\* 万全の感染防止対策の上、粛々(しゅくしゅく)と行動を!

ご清聴を感謝いたします。

